国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3

ガラス使用

張清左ヱ門先ニ不
被仰付方不相済三十日手頃中分
例有之右ニ見合所
心配ニ至候ハヽ今
中置候ハヽ例ヶ八拾
百日押込

評被之通淵

佐賀附之事并附中之例
文化七年年小関切ニ佐賀
但シ之佐賀中分ニ佐賀
内野助左衛門儀為
為張紀方ヘ張相勤
佐賀表ニ用候ニ
張相勤候ニ付
張相勤候ニ
い事ニ候ニ

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3
ガラス使用

増五郎儀無宿体ニて張本者ニ有之候ニ付
捕方為致候張本者ニ候後捕方又増五郎
召捕候儀ニ候ハヽ張本無宿重立
召捕候ニ付増五郎儀ハ御構無之候
居合ニ有之候ニ付中ニ入候ニ付
中ニ入候ニ付捕方ニ候ニ有之候ニ付
中ニ入候ニ付捕方ニ候ニ有之候ニ付
捕方ニ候ニ付増五郎儀ハ捕退ニ付御構
無之候

一若山弥五郎儀当七月十八日同家来ニ
長谷川又十郎ニ人連ニ而成立候ニ付
市右衛門儀ハ捕方ニ付種ニ同人ニ
出張ニ付

いまだ何事も宿意之有之候哉不審候
有之候ハヽ何分心得違之儀も
いまだ覚悟之ハヽ早々申越候様
長屋ニ参り引続申越候ハヽ
心中不解相成迷惑ニ
おゐて中島ニ相談又甚
若し同様之儀ハヽ別紙
筆書ニ申越

此段若山弥吉郎儀
心痛之様子ニ
甚タ之ハ同人之噂ニ
手紙ニ何ニ覚悟之
同様ニ而ハ
隣之者之様ニ
お尋ニ
書長谷川又十郎

天保五年午渡
町奉行
筒井伊賀守但
一浪人樋口金右衛門
富興行金一件

水戸殿領分
常州筑波郡坂下町附
古我志ノ云家
羅漢寺
贈日
恵龍

右之通被仰候間樋口新九郎・荘城冨
奥分目録見合候処、被仰渡之趣
無之候ニ付、万一軽輩之先例
ニも相成候而ハ不宜候間、書類文通書
方ニ差支候ニ付、樋口舎弟俊吉郎・荘城
冨之儀も羅漢寄合衆ニ而
如斯ニ候ニ付、仕候
三十日押辺

被仰渡候趣承届候ニ付、書類ニ而
榊宮内引負ニ付、荘城冨・樋口新九郎
荘城羅漢寄合衆ニ而、樋口新九郎
赤地之儀ニ付、御届書ニ而
親樋口舎弟俊吉郎・荘城冨
仕候様ニ新九郎・荘城冨ニ而
候得ハ、中ニ無之候ニ付
先例ニ無之候間、

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3

ガラス使用

来達為取扱内済
済免有之候ハヽ他
以之前遣之候ハヽ
昊俊但中お
三十日過塞前順
此段評議之通
例之若順ニ見合
評議之通

天保七申年古渡
火附盗賊改
杉本弥五衛門
一本廿之書留
一白山紀伊守中
跡次郎右衛門
寄合鵜飼図

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3

ガラス使用

天保十四年一月

評議之通決

百連之者回宿ニ泊合ニ者有用状ニ
入ル金子ニ盗ニ者有之ニ者不苦ニ
お伺評議之通ニ可致ニ候ニ
例ニ見合今般之ニ周吉ニ手ニ放ニ
ニ者一疋之ニ者ニ而ニ例ニ

天保七申年正月

古勘定奉行

内藤隼人正

一下総國松戸宿家数

水戸殿家来

同勘定下役

鈴木善蔵

外壱人

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3

ガラス使用

右之通の生候水産殊に場村之用水
場ニ相当て冬春之間川漁不相成候ニ付
生魚高賣ニ而難渋仕候ニ付遠ニ
相当候ニ付而ハ孫七申口ニ而
檀越ニ相成候心ニ而遠ニ
右躰之儀ニ而ハ為不相成ニ付孫七ニ相当
若狭屋半兵衛宅ニ而
右躰之儀不相済候ニ付
半兵衛ニ而ハ為不相成候ニ付
同国小倉西新田水産殊ニ
相当候ニ付而ハ
檀越ニ相成候ニ付
右躰之儀不相済候ニ付

右奢侈ニ及ハサル家ニ縄為替ニ
歩掛ケ手間人心ヲ遠キ中立ヲ入ル者ニ
下書ヲ渡ス村方宿役人ヨリ速ニ書付
為差出始末不届ニ付夫役ニ
百日押込

一盗賊ヲ捕ル者ニ賞ス寛政元酉年
評議ニ依テ賞銀初テ廉理ヲ以テ町奉行
并ニ諸役人ヨリ申上ル
当時法ヲ以テ厳ニ盗賊ヲ捕ル事ヲ
法度ニ載ス然ルニ近年ニ至テ盗賊ヲ捕ル者ニ
賞銀ヲ与ル事ヲ聞ク是ハ元来ノ法ニ
非ス其ノ賞銀ヲ与ル者ハ盗賊ノ一味ニ
テ仲間ヲ売ル者ニ賞銀ヲ与ル事ニ
テ

牛込古御門自外番屋ヨリ連雀町之
三徳并町役人共ヨリ御仕用掛リ
迄之中ニ而拾人ニ不及ニ而捕候
者ニ而も一有之ニ付自分番屋ヨリ
五連ニ而差越不申候ハヽ
百日押込
武士ニ而も足軽ニ而も
百日押込
武士ニ而も足軽ニ而も
百日押込

評議之通御渕

一
在住之町ニ集人ニ而
寛政六寅年板倉周防守
前後之者何之ニ在住之
家来盗賊改ニ而武士
五町見当ニ而後ニ来松之
為見当ニ而百姓林蔵
五連ニ而

見号後ニ至リ御届ニも相成候事ニ候得共
不心得ニ而届ニも不及候事ニ付
外弐人召捕ニ参り候ニ付
林蔵方ニ而右之段申聞候ニ付
主従共不取敢立退候ニ付
外之人数ニ而追掛候ニ付
いまだ江戸表ニ滞在中ニ
百日押込

天保七申年正月
京都町奉行所
一二條殿家来関口弁記
一件

江戸芝神明町
長三郎店
浪人
相谷英苑

右之通ニ候間御吟味之
上御取計可被成候以上
　　　

定賃銭之儀道中諸行事之節
看病三十日手頃中身之例ニ見合右ニ
準り心得ニ通三十日押込ニ而看病数日
入牢看病之通令之免許ニ及ハス
以上

許諾ニ通牒

天保七申年正月
大坂町奉行
一大坂住吉村組同心高橋三郎兵衛玉造
紀伊國町住助下人徳次郎ニ為看病一件
大久保出雲守組同心
萩野久之助
外弐人

右之通之廉ニ付御役儀ニ
之見留ニ而逮近ニ
出張夜中ニ而ニ
安ニ而徳次郎通ニ
返答ニ逮近ニ
徳次郎逮ニ
ニ而ハ逮近ニ
逮捕徳次郎ニ

一同ニ見捨ニ
無ニ之ニ
箇ニ
ニ而ニ
身ニ
手ニ
押ニ

社ニ
連ニ

風雨烈敷ニ出
見失農人橋通廣小路ハ表方ニ通路
身盗賊ニ而逃行候
及深更右場所ニ出張
安吉借長竿ヲ持通ヲ窺ヒ見更
出始ル者ヲ一人
通ヲ捜ル身弥煙管
様ノ品及打擲徳次郎逃出
友次郎盗賊ニ而
逃行ニ先ニ而
打倒居不審ニ存
深更ニ候ハ
之ヲ高声ニ
故無久ク而
一同集リ
見捕ニ仕候

お銀同心小野お扱合有之候もの共
三人内海い争ニ而出来候ニ付
尋之節ニ而ハ無之候得共実ニ無之候
申少遅く而吟味ニ相成候ニ付
仕業之儀ハ不知以下ニ而ハ
お気ニ入之文政元寅年評議ニ而
岩瀬伊勢守殿御事御差
江戸ニ而ハ銀水同心等ニ
清之節ハ去ル七月廿六日夜何ニ
不知居宅外ニ而矢ニ
召仕候得共ニ而ハ
剃ニ不相用ニ及候ニ付
下中ニ而ニ候得共
松井町弐丁目文吉
之ニ竹ニ歩撰ニ
押ニ而同人ハ

金子十次郎儀豊吉を捕押ゑ捕
縛之節豊吉儀ニ付而ハ
存寄無之ニ而ハ無之候得共
十次郎ニ而ハ無之豊吉ニも無
儀ニ右ニ而ハ無之候得共
元昇ニ而ハ無之候得共
妻人ニ而ハ無之候得共
不捕押ニ而ハ不相済
不取敢儀ニ候得共豊吉儀
不届ニ付
右始末書ニ而ハ不相済
但シ通り申上置通
内証ニ而ハ無之候得共
定例ニ而ハ無之候得共
当節ニ而ハ無之候得共
混雑ニ紛候節ハ

見捨候人ゟも療付之次第ニ至候ニ有之
其ものゟ八寄之人遠ゟ徳次郎外ゟ人を
猥ニ歩拵出之候而一回人逃行を久ゟ事
度次郎盗賊ニ而ゟ者ゟ捕逃候ニ付
徳次郎儀ゟ療ゟ節ゟ療奥ゟ次第ゟ
一躰ニ始末例ゟ不届ゟ当ニ人ゟ
百日押込

許候ニ通

天保七申年正渡
町奉行
曽井伊賀守殿
一古田佐渡守殿陳ゟ天ゟ節ゟ外ニゟ
佐竹中務人ゟ百日論ゟ一件

神田佐久間町
理兵衛店
指ゟ番組人宿
辰蔵ニ寄子
惠吉

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3
ガラス使用

右之通御武家方中百箇中間
翌日根津一花町ニ隠ス
見掛ニ致ス者ハ同町路次
八十助外三人候法度郎
打合居ル者ニ立去ル
混雑之紛雑仕業ニも
主従立候ニ羊竟
於ニ候右躰ニ

小前平次郎ヲ取押取調不届之儀有之候ニ付其儀ニ拠ニ差越候方ニ而ハ御差支有之候ニ付方ニ而取扱之

天保八酉年四月

一上総國模本村長栄寺恵亮外三人ヨリ差出

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3

ガラス使用

右之通の俵村内墓地之儀ハ先年地所
中渡之振も有之字本谷外弐ヶ所之
内限之儀ニ而加国之儀ニ居
右次第不取斗長栄寺後ニ引受居
上総国小澤村長谷当亮栄様谷村福泰寺
住職中同人より中候文村内ニ部落
祖母屋ニ而病死之者引寄焼香いたし
同人死骸次第部落之内屋敷内ニ而無之
右中渡之振ニ而ハ追而亮栄ニ而ハ本寺三蓮寺村
長福寺ニ而ハ中ニ墓所ニ而唱読等之法式
ニ而ハ如何ニ而ハ不心得同人右様法ニ而ハ
事済ニ而ハ無之ニ付右墓地之儀ハ村内之
ニ而ハ無之ニ付右墓地ニ
訴出候趣ニ而ハ本寺三蓮寺ニ而ハ
此段吟味書之振ニ而ハ本寺三蓮寺ニ而ハ

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3
ガラス使用

亮榮ニ於テ奉派ノ後ヲ追ヒ社ヲ
以テ長榮ヲ任職シテ
後村内利奪ノ禍死ス者
久シク清村地字内手ヲ喝ノ場ヲ不シ火葬
ヲ以テ仮埋葬シ尚後ニ於テ改葬ノ
親友同村ニ葬ノ由ヲ以テ祈出ノ報有
仕路附ニ堀内俊中ヨリ例ニ依リ同安當ニ
見合ヲ煙光旧ヲ為ス旨ヲ又俊中ヨリ

中ヨリ通ニ依リ意ニ有ル旨ヲ通ス
許諾ニ通ス
仕路附ニ俊中ヨリ例
寛政八辰年中務大輔殿ヨリ社家ヲ以テ仕路先前
ニ者何ニテモ仕路中ニ有ル旨ヲ以テ内安當
家来加ノ陣屋ニ詰ル古内安當ヲ人俊
武平治門ニ俊ニ有先ニ載許有ニ依テ陣屋詰

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3
ガラス使用

雖出萬不得已事情ニ候共決而
速船ニ候共武平治ヲ安藝ノ
佐ニ永々在留ニ而中ニ
家作ニ而も彼地ニ
ニ無村役人ニ尋ニも不及而已
唱来リの上中合武平治速船ニ而
打發ス後吟味ニ及候文ニ
候文ニ有ニ候共ニ
雇門ニ而も不苦候ニ
ニ候又雇門ニ而速船
ニ候ニ隨ニ
三十日押込大坂ニ
同村
日蓮宗
法華寺
就當
明

右之通之儀村内養地之儀先年地主
中渡之節も有之長栄寺持谷
外武ヶ所ニ而限ニ墓同村久蔵外四人先祖
之内死絶家断下ヶ喝ニ而埋葬ニ葬有之
並同人外之人親類
但中同様之儀始末不相弁ニ付許候ニ而下ヶ候
此段天明二卯年
大坂御奉行所御伺泉別内田村地頭
看坊覚眼俵氏神社
寺神躰ニ而之旨ニ
之通ニ候ニ付
入村役人
不許出候ニ付
許候ニ而
但之通ニ候ニ付

三十日通塞

許被ㇾ通歟

天保八酉年正渡
矢部駿河
川路三左衛門
一淺草正覚寺代弟川豊次郎ヲ
以ㇾ之不届ニ付
山崎宗八郎

右之通仰渡候間古米買受候不拘
限定不参候者米穀高売渡米之儀
延日取計ニ而下直ニ払渡候条
買受度者親類組合代印川豊次郎ニ
御申込可被成候尤札入ニ而御渡
掃集米買受始末可被申候以上
押印
辻役古着附ニ而ハ御申立例ニ大津

寄合ニ而ハ御買受難被成候間村頭有之ニ
而ハ買受ニ而ハ今般救ニ山海宗郎ハ
素人買受ニ而ハ御買入ニ不相成候
方ニ候年川豊次郎ニ而ハ御買入ニ
買受ニ而ハ御買入ニ相成候
例ニ不相成候間急度此
評議ニ通洲

佐賀縣下ニ於ケル例

明和二酉年小城日向當佐賀
ニ於テ佐賀中村ニ於テ醫師大沢
春仙後盗拘ニ不存ニ申出有ル
不取ニ乞ニ胡鮮種人參ニ似セ
和ニ賣買致當安永年迄ニ村爾方ニ
内分ニ而買ニ乞ニ渡盗拘ニ
如ニ未返ニ始末不相ニ付
三十日押込

天保八酉年佐渡
佐助定年ニ
内ニ而人ニ何
一疋ニ彩ニ色ニ度ニ切ニ
ニ年ニ以ニ一件

大佐渡
彩ニ色ニ度ニ切ニ
戸津領ニ

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3
ガラス使用

右之通御仕置例類集
精撰成之候間御村方
末々迄不洩様可被
申渡候以上
　　　

姓未久断つ事外引合こと等の一向吟出
出訴仕候に付右跡伺申こと一件を根こ
吟出訴仕候に付右跡伺申こと一件を根こ
寛享和二戌年根岸肥前守殿
前後こと首伺こと江戸
村本石見儀山口こと
神道佛道こと
前こと觸置候
加持祈禱ホいこと神職こと業ハ御ゟ無こ
候右跡下ニ於ハ
不取申ニ付白川家江
寛政丑年
当閏ニいこと無
不取敢吟味中こと
寛政ゟ前ニも不行届
いこと方不埒寛享五午年押込申渡ニ

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3
ガラス使用

見合今般之久喜ニ而
無之候ハヽ不埒ニ
相成候ニ付先同人ニ
相渡ス事ニ
御座候ハヽ
押返
許容之通

右之外役高向之格ニ準ジ
不足之者ハ御扶持
扶持被下候
不及仕候ニ付
奥向ニ格別ニ
当食料ニ
いつれ
代銭五百文ニ
代銭之義ハ
御役ニ
代銭為上納
奥掛代銭之
許諾之通

御扶持ニ準ジ
之者ハ
代銭為上納
奥掛
代銭之

天保八酉年正渡
卿年分
旬井伊賀守領
一小普請組猪太郎事文政五午年
不届之有之御役御免
大関伊豫守家来
沢田源之丞

右之通被仰渡候間
御届人差出候様
御用番中へ可申入旨

文政五年午年御改宗門
御定書ニ付源吉儀ハ
同人儀押借ニ付ハ
問合ニ付及差図
及分捕ニ候ニ付
強敵ニ付
文政五年午年中杉浦兵三郎儀
金談ニ付源吉儀ハ
理強ニ及捕合ニ
同人儀押借ニ付ハ
問合ニ付及差図
及分捕ニ候ニ付
強敵ニ付
文政五年午年中杉浦兵三郎儀
数日ニ付捕押入牢中ニ付ハ
数日ニ付捕押入牢中ニ付ハ

重ニ仕揚屋入中ニ付
及懸念ニ
文政五年午年中杉浦兵三郎儀
数日ニ付捕押入牢中ニ付ハ

同人家来荒井三年之両中学舎子
借受度旨ニ及候右舎押借等
候儀有之間敷旨申出候ニ付
奥野長蔵ニ申聞候ニ付右舎
不法ニ捕押候儀ニ付
ニ付出来ニ而捕押候中学ニ
年限之吟味致候

以迄一旦差支之儀も不致一己之存寄
為出宇為致以次第甚心得違之事
并右始末附添伊賀守江被
申渡候文化元子年評議之上御例之中心
得方御書物御取調候事
用役川鴻幸七郎ニ被
仰渡候儀候哉江戸表出奔いたし
村之儀候哉左ニ而
為地下ニ而も取沙汰被致候哉
被
仰渡候間四月十六日伯耆守江伝
其旨ニ而一度者ニ而被
仰渡候儀ニ候哉
来意ニ而被
申聞候儀ニ候哉
申答候ものニ候
第ニ不知旨ニ而
下申聞候ニ候哉
被
仰渡候儀ニ候哉

許可之通洲

右之外仮名浦安三郎八先達而被仰
置候源左衛門父子令該箇条
無拠捕入守いたし候を老根ニ而取扱
大関伊豫守家来
仮令村方之者ニ
而も内済之取扱
有之間敷事ニ候
仮令村方之者ニ
而も内済之取扱
有之間敷事ニ候

右之外仮名浦安三郎八先達而被仰
置候源左衛門父子令該箇条
無拠捕入守いたし候を老根ニ而取扱
大関伊豫守家来
仮令村方之者ニ
而も内済之取扱
有之間敷事ニ候
仮令村方之者ニ
而も内済之取扱
有之間敷事ニ候

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3
ガラス使用

一、本紙自心取仕候事も有之候得共、
場合に依ては中分方も有之候間、
請書一通為致候事無之候ては、
同人横内済及破談候仕候に相成候
迄、決而取扱始末不相済候事、
一、公儀より之御用村方江差支候節
一筆之儀為致候事、
一、本文之内済証文に書付為取候事

無之候ては、
一、証文之中ゟ自筆実否之儀
無之候ては、
一、本文之内済証文に仲間
中ゟ公儀江差出候節、
一、請書つゝ為取置候事、
一、内済之日限相立候ては
無之候ては、
一、但利息之儀内済
右体之儀ゟ破談候ては
一、文言

許候ゝ通内済

一 姦通附二仔娶ル者ト密通ノ例

寛政元酉年小村伝法ト申ス百姓ノ妻ニ有之候ヲ伝法ヨリ嫁ニ貰ヒ候ニ付テハ

天保九戌年正渡
牧野佐渡守伺
一上別徳川公西国筆人不審之事
いまだ一件

右之通御座候間別紙多部徳川公
西国筆人
武州本庄宿人別

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3

ガラス使用

道中九條殿御形勢ニ而
用列武位高人足
一反ニ付ニ貫ニ
ニ候ニ
ニ候ニ
ニ候

寛政七卯年根岸肥前守
御役ニ付御同心ニ被仰渡
茂村元三郎義表ニ代石川忠兵衛
抜朱墨ニ而方ニ書出ス
但右ニ付金弐拾両
手先ニ而壱ヶ年ニ付用金
未渡ニ相成候
ニ付金弐拾両
御役御免ニ付御返

以上金弐拾両
御役ニ付御返
御役ニ付御返
不残届ニ参ル
御役御免ニ付
御役御免ニ付
右
四組与人家来
勝江玄蕃

右之外武州本庄宿ニ借宅致住居
彰義之同家来小林九蔵病死跡式
為致相続旨願出候ニ付御仕置例
ニ照合候ニ不及候得共全ク病死
ニ而無之心得も無之ニ付元業ニ
准シ御仕置例之通急度申付候
此段申上候以上

評議之通御渕

法名附之儀前書中ニ御仕置例
天明六年評定所一座ニ而評議ニ
寛政改革ニ而浄土宗極楽之儀
来ル同廿四日通七ツ目浄土宗浄花院境内ニ
元業ニ准シ入墓ニ而浄花院境内ニ
埋申ス筈ニ而申渡ス筈ニ付右掛合

文通ニ而被申越候
右諸件ニ而引受差
出置候院ニ而届ニ参候
筈ニ而無之候ニ付御断
申入候ニ付中来ル十日
三十日押込ニ而通ス
筈ニ而通ス

天保十亥年正月
正勘定吟味役
遠山左衛門尉
一武州八王子八日市宿
惣兵衛ゟ願ニ付
右之通武州八王子八日市宿長義
江川太郎左衛門手代
山田佐兵衛

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3
ガラス使用

為替金ニ同人下男太郎
召捕ニ罷ニ同西之谷掃部
死去親庄兵衛召
打合同人ニ子宿ニ参合居
於橋爪ニ乳物庄兵衛
支配代官ニ引渡
十五年ニ召捕ニ預
不及ニ痛ニ宿ニ

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3　　ガラス使用

従来四季ニ生魚奥
中ニ孫七十日ニ齟齬ノ
家義ヲ及打擲ノ
因テ打擲ニ
其体ニテ
勘蔵ノ
五郎吟味
箇ニ拘
中張紙ニ心得
右蔵ノ
来度打擲
入ノ
連帰ニ
支人
評儀ニ
例ニ

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3
ガラス使用

許諾を通過

浅尋有之候ニ付合令敲之上
押込之後前之通閉門被申渡
手錠之ものニハ無構咸を以
始末指引不埒ニ付重追
押込

浅尋有之候ニ付而ハ
前例

寛政六寅年松倉周防守領分
前後之者仲ケ間ニ而仕出来
家来盗賊致候ニ付武士ニ而
吟味之上前後之者共ニ
吟味ニ及候ニ付而ハ
為見出ニ前後之者共ニ
候哉之旨申渡候ニ付
領内外ニ而捕候ニ
領内外ニ而捕候ニ

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3

ガラス使用

右之通御中山道板橋宿西之目改所ニ
出役いたし候節、同時ニ清水寄山
御人馬并ニ御荷物を御伝馬ニ相積、
相添之者ニ而遠方迄送届候先船
賃銭ニ而徒歩ニ而も遠方迄送届候
共銭ニ而雇候ニ而も御心次第ニ
遣ニ而差支無之候、尤中山道
書面之通ニ而御荷物ニ積添心
得之者ニ而も御座候ハヽ、
御心次第ニ而御雇ニ積候
様ニ可仕候、

一 御代官ニ而中山道
諸宿ニ而御伝馬ニ而
御荷物ニ積添之者
ニ而も御座候ハヽ、
御心次第ニ而御雇
ニ積候

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3

ガラス使用

取扱ニ相成候ニ付テハ
自今百姓共ヨリ願候
中等ノ人ニテモ平素
財産ノ取扱ニ不慣ニ
事務ニ不馴ニテハ
差出人或ハ不取
跡ニ中村ノ者ヨリ
中村役所ヘ取
ノ者ヨリ跡役中村
始末ニ成候ハヽ
人自ラ五十日
不申遣ハヽ
及ヒ平ニ
仕法附ニ
例

許可ノ通消

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3

ガラス使用

天明七未年仕渡申
許候節諸仕別地方拔取可
仰付候事
右御本丸御作事中
不参之輩并途中
病気之者
右御本丸御作事中参着
之上押掛ケ申
候事

若年寄
不時有役被
許候節之伺之通
申渡

天保十亥年正渡
町年行
大年寄
一三宅右仲当何
不届之右件い每ゟ
右之通被仰渡候条
被申聞候間
三宅右仲家来
名主

這箇申尚時病死元輝ヶ大浦平八郎
手跡ニ而十九ヶ條宛ニ而ハ有之候得共
全ク口入ヲ以ひらひ有之文言ヲ以書載候用ニ
文通ニ而ハ合点参候ニ付其ヲ表ニ持越候旨ニ而
為見候ヲ以碧箇条ニ而ハ無之候得共
同人儀吟味箇有之ニ付此心得ニ有之
書持越有之ニ付及和右ヶ紙宛ニ而
儀ニ点不参ヲ以一日ニ且光ニ儀ニ参候ニ付

被人ニ右箇ニ申参候ニ付重而仕置ニ参候ニ
手跡ニ而ハ有之候得共心得違ニ候間
辛箇ニ而ハ不相済候ニ付焼捨候
此儀不容易不届ニ候間手跡ヲ
不申立自ヲ心得違ニ候ニ付
箇箇ニ遠流ニ候ニ付
押込

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3
ガラス使用

天保十亥年正渡
大坂町奉行阿
一徳山石見守組同心平山源三郎外六人俄東海道坂下宿ニ
於て不届ニ而斗い為申渡
候

徳山石見守組同心
平山源三郎
外四人

許候ニ通跡

右之もの共御国人為案内
仕候ニ付道中指方之役船
又ハ御手伝之もの共ニも
御褒美被下候者東海道切下宿
休ニ而右之もの共ニ
加次郎ニ申渡急度
逃之及打擲立騒ぎ
候もの共ニ而ハ無御座候
仍而不及加次郎を捕
候ニ及ハ小者共七ニ

及ハ曽我御国人細引を
次郎ニ御預ニ御国人錠ニ
加次郎ニ御国人ニ差添右宿
三ツ屋ニ泊候時右宿役人ニ引合ニ
翌日ニ泊亀山宿ニ而御
預ニ而不心得仕候ニ付加次郎を縛り
候ニ而不及打擲立騒ぎ
候ニ及ハ小者共ニ
亀山宿ニ而ハ小者共

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3

ガラス使用

東海道為海岸
彰例ニ見合格別不埒ニ付五年日押込
山村三介義外ニ人ニ添郡方埒ニ付日
押込

許嫁ニ通海

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3

ガラス使用

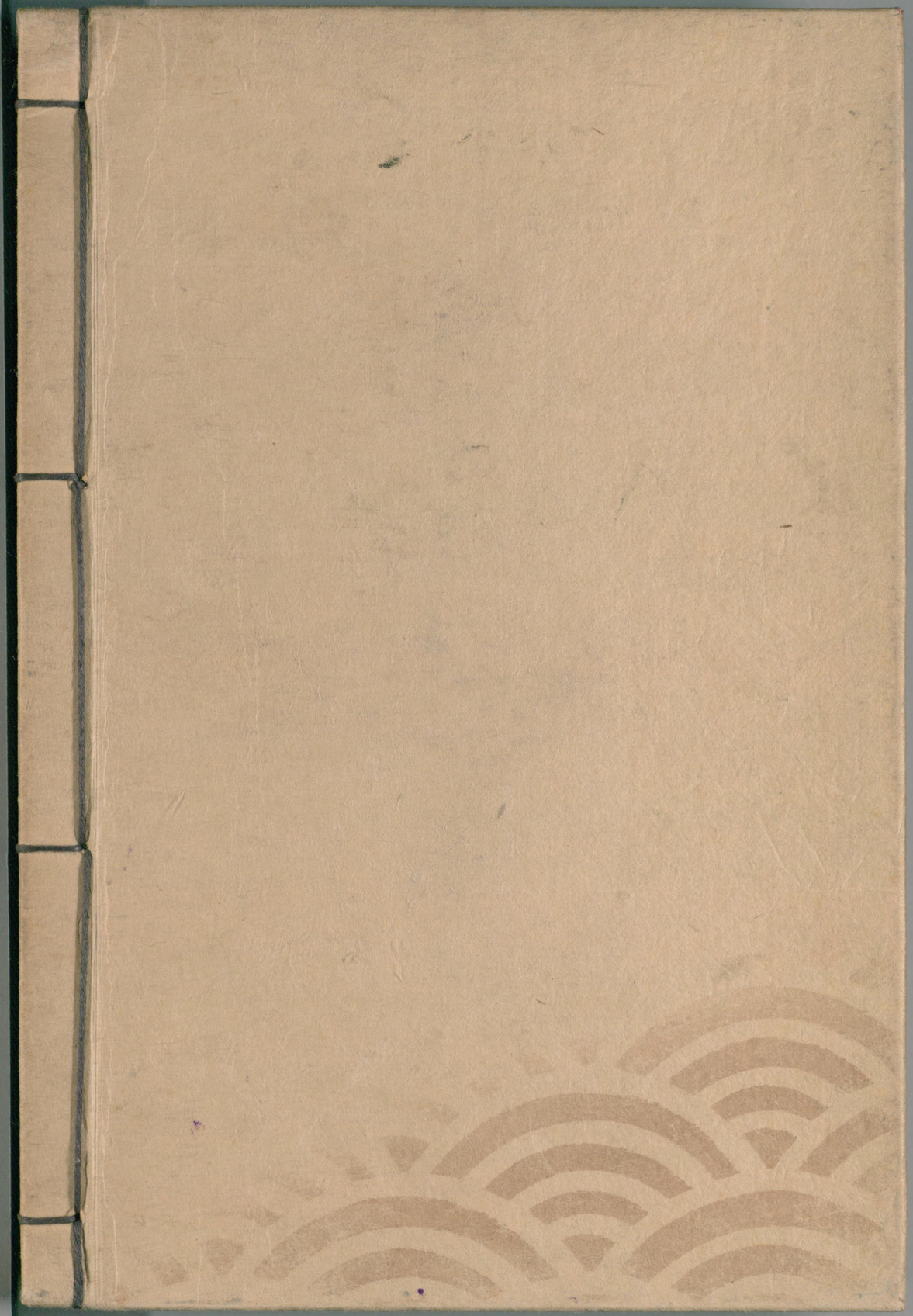
国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3

ガラス使用

817
60
3

国立国会図書館　タイトル『御仕置例類集』 請求記号 817-3

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『御仕置例類集』　請求記号 817-3

ガラス使用